

13.子ども食堂を地域に根付かせるための工夫 日進絆子ども食堂、うきぐも食堂

福家雅稀

本稿では2か所の子ども食堂別で地域に根付かせる為に行われていることをまとめてみた。

①日進絆子ども食堂

1.開催日時・メニュー.

○5月14日

親子丼 サラダ 味噌汁 フルーツ(卵、鶏肉アレルギーの方は赤飯)

大学生グループは子どもと遊ぶレクリエーションとしてうちわ作りをした。うちわの骨組みに子どもが描いた絵を張り付けてうちわ作りをしていた。他にはファミボド日進という団体の人たちのところで子どもたちはボードゲームをしていた。

○6月19日

ご飯 トンカツ フルーツ サラダ

ご飯を食べた後に歌の時間を設けておりみんな机に座って歌を歌ってもらう。そして日進絆子ども食堂のテーマソングを前に行きみんなで歌って一体感を作ることをした。他にはお絵かきコンテストをして子どもたちに書いてもらった絵をかざり投票してもらって一番人気のあったものを日進絆子ども食堂のパンフレットの隅に絵を載せる

○7月9日

カレーライス サラダ バナナ

この7月は大学生グループの出し物はなくファミボド日進さんのボードゲームを子どもたちと大学生で遊んだ。しかし子どもの参加者が少なく遊ぶにもそこまでの遊びもできなく子どもが参加をしてもらえないと遊びたくても遊べないと感じた。

○9月10日

ハンバーグ サラダ ゼリー

小麦粘土や紙粘土などを使って遊んだ。紙粘土に絵の具を混ぜて白いものに色を付けて遊ぶことや小麦粘土はもともと色付きの粘土を使い子どもたちはそれを使いいろいろなものを作ってもらえた。

○10月8日

鶏のから揚げ マカロニサラダ グリーンサラダ かぼちゃの煮物 味噌汁

お絵かきをして遊んだ。自分の書きたいものを書いて遊んだ。他にはファミボド日進さんのボードゲームをして遊んだ。

○11月12日

チキンクリームシチュー マカロニサラダ ご飯 柿

バルーンアートをして子どもたちと遊んだ。これは子どもの気を引くのに一番効果的ではないのかと感じた。子どもたちも本を見ながら自分で作れるなどして笑顔を見られてよかったと思った。

2.子ども食堂が抱えている地域に根付かせるための課題と取り組み

日進絆子ども食堂はにぎわい交流館で毎月第二日曜日に開催されている。にぎわい交流館に一度行ってもらうとわかると思うが遊ぶ場所やご飯を食べる場所など場所としてはとても良い場所である。日進絆子ども食堂の一番の問題は地域に根付かせることだと思う。地域の人にわかってもらわなければせっかくの良い場所なのにもったいない。その為にチラシを回覧板に混ぜるなどしているが一番力を入れているのはお祭りにブースを出して宣伝していることだと思う。日進市には4大まつりがある。日進市岩崎城春まつり、にしんわいわいフェスティバル、にしん夢まつり、にしん市民まつりの4つである。その中からにしんわいわいフェスティバルとにしん市民祭りの二つにブースを出して宣伝をしてきた。にしんわいわいフェスティバルでは子どもたちが好きそうな糸紐くじを作ったり、その他にはポップコーンや綿菓子などを手作りで作ったり、冷やしたジュースを売ったりしていた。糸紐くじには子どもの好きそうなロケット鉛筆やちょっとした紙パックジュースなど、子どもの好きなものを景品にした。くじ引きやポップコーンを買ってくれたお客様に日進絆子ども食堂のチラシを配ることによって宣伝することが出来る。そして売り上げは子ども食堂の資金源になる。しかし、次の日が子ども食堂であったがあまり効果がなかった。理由を考えていたが、子どもたちだけでくじ引きにくる子などに渡していたので捨てられていたかもしれないと考えられる。

そしてもう一つのお祭りがにしん市民まつりである。ここではくじ引きやポップコーンなどは作らずにブースだけを出した。そこで輪投げをして子どもたちが遊んでいる間に親にチラシを配るなどをして、子ども食堂を地域に根付かせることが出来ていると思う。他にはお祭りに参加している家族連れにチラシを配り、PR看板を掲げて移動をして子ども食堂の事をアピールした。その前の週にテレビで放送されていたので少し認知されていたものを、自分たちがアピールしたかいもあり、深く知ってもらうことが出来たので良いきっかけになったと思われる。

そして他の子ども食堂と大きな違いが日進絆子ども食堂にはある。食事の提供とそれ以外のプログラムをだいたい同じ代表の人が考えているところが多いと思われる。しかし、日進絆子ども食堂は代表の方たちには食事提供を考えていただいたり、作っていただくことをメインでもしてもらい、愛知学院の学生さんと中京の学生で作られている学生グループのアグモンというグループで遊ぶ内容を考えたりする。学生グループで考えることによって、小さい子どもたちに近い立場で作り、子どもたちによるこんでもらうことが出来た。このような事も地域に根付かせる為の工夫ではないかと思われる。

②うきぐも食堂

1.開催日時・メニュー

○11月22日

水餃子 中華スープ 蒸し野菜 おむすび フルーツ

遊ぶ事はあまりなかった。他の自分の行っている子ども食堂とは違い、学習支援を行った。他には三線を引いてもらうなど、これも他の子ども食堂では経験できないものだと思う。しかし子どもたちと遊ぶ為には一緒に戯れることしかできない。

2.子ども食堂が抱えている地域に根付かせるための課題と取り組み

うきぐも食堂さんはプレオープンに参加させてもらった。プレオープンと言うこともあり根付かせるためにしなければいけないこともたくさんある。しかし、メディアを有効活用していた。ローカルテレビはもちろん、地域新聞も2社ほど来ており地域に根付かせるためには一番良い手段だと思う。他には地域の校長先生も子ども食堂に参加されていたので学校との連携も取りやすいのではないのかと思う。これはいろいろな子ども食堂がうらやましいと思うことだと思うのでこれも他の子ども食堂さんと比べても恵まれていると感じる。これから本格的に始めてみると見えてくる課題もあると思うが上手に地域に根付いていくのではないのかと感じた。

